



地域子育て支援だより

2022年度 1月号 久宝まぶねこども園

TEL (072) 992-2033

新年を迎え、園児は年末年始の家族と過ごした楽しかった思い出を嬉しそうに話をしてくれたのが印象的でした。

新型コロナウイルスも増加傾向の報道がありますが、園ではインフルエンザの感染報告が年明けに急増し、体調管理と手洗い・消毒等の感染予防に余念が付きません。ご家庭でも、体力作りとともに、感染予防に努めるようにしましょう。

継続して、地域開放のプログラムは中止していますが、次年度の入園準備としての園見学は実施していますので、園見学を希望される方は園までお問い合わせください。

園庭開放・親子教室のご案内

※今後の感染状況により、再開が決まりましたら子育て支援だよりにてお知らせします。

※ホームページに子育て支援だよりや給食だより、献立表を掲載しています。

甘えろこって、とっても大事

アタッチメントを知っていますか？

抱っこされたり、なでられたりすると、赤ちゃんや子どもの脳にはオキシトシンなどの幸せホルモンが湧き立ちます。その「とても心地よい状態」のときに、いつも見聞きする「やさしい声」や「笑顔」が結びついて、アタッチメント（愛着関係）が作られます。

子どもはその関係をベースに、外の世界の探索を始めます。赤ちゃんの時期を卒業しても、子どもが不安そうなときは、いつでもぎゅっと抱きしめてあげてください。

愛着関係があるから、
少し離れても
大丈夫



子どもの力を引き出す声かけとは？

0・1・2歳児への声かけ

子どもとの愛着関係を築き、社会性や言葉を育ていくためにも、赤ちゃんのときからの声かけは大切です。「おむつ替えようね」「おててふこうね」など、何かする

ときには必ず声をかけること、「いいね」「楽しいね」など、子どもの思いを言葉にしていけることがとても大切です。

行動の前に必ずひと言

「〇〇ちゃん、お着替えしようね」など、名前を呼んで、次の行動を知らせる。

子どもの気持ちを言葉に

「〇〇でうれしいね」「〇〇で悲しいね」など、子どもの気持ちに共感して、それを言葉に。

ポジティブな声かけを

「ダメ」「危ない」と言われ続けると、自発的な行動ができなくなってしまうことも。「登っちゃダメ」ではなく、「降りてきて」と伝える。

子ども自身が考えられるように

「こうしなさい」ではなく、「どっちがいい？」「これは、どうかな？」と、子どもに考えさせるのも大事。

